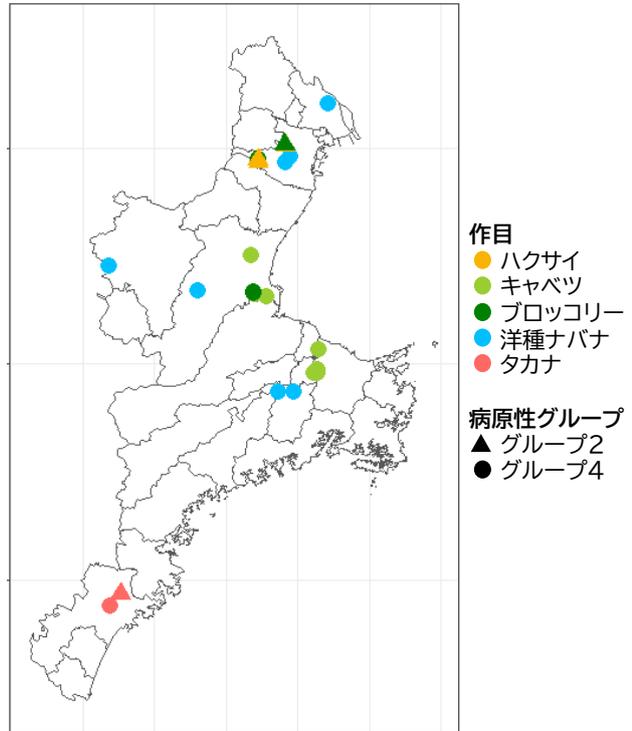


## 三重県内のアブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分類に応じた品種選択

利用対象：生産者、指導者

アブラナ科野菜根こぶ病の対策技術の一つとして、抵抗性品種の導入がありますが、地域によっては抵抗性品種が激しく罹病する場合があるため、病原性グループに適合した抵抗性品種を利用する必要があります。そこで、三重県内のアブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分布を調査し、発生する根こぶ病菌に対するハクサイ、キャベツの抵抗性を明らかにしました。



三重県では、主にグループ4の根こぶ病菌が占有していました。ただし、四日市市と熊野市では、グループ2とグループ4が混在するため、グループ2とグループ4に対する抵抗性品種の利用が推奨されます。

アブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分布

### 三重県内で採取した根こぶ病菌に対するハクサイ、キャベツの品種抵抗性

作目	供試品種	品種の根こぶ病抵抗性表記	品種の抵抗性程度 <sup>a)</sup>	
			グループ2	グループ4
ハクサイ	無双	感受性	+	+
	勝黄	抵抗性	+	±
	黄愛90、黄ごころ90	抵抗性	+	-
	きらぼし90	抵抗性	±	-
	CR寒次郎、冴黄90、SCRひろ黄、あきめき	抵抗性	-	-
キャベツ	夢舞妓、YRまつきち、ふゆおこ、強力まどか、F1改良愛輝	感受性	+	+
	光彩	感受性	+	±
	翠緑	耐病性	±	-
	BCR龍月、YCRふゆいろ	抵抗性	-	-

a) -：強い抵抗性(平均発病度1.0未満)、±：弱い抵抗性(平均発病度1.0以上2.0未満)、+：罹病性(平均発病度2.0以上3.0)

アブラナ科野菜根こぶ病の基本対策は圃場内の病原菌密度を高めないことです。根こぶ病抵抗性品種と薬剤防除等の併用で圃場の病原菌密度を低下させる対策を推奨します。

お問い合わせ先	基盤技術研究室 農産物安全安心研究課 中嶋香織 中央農業改良普及センター 中村元彦	電話 0598-42-6360 電話 0598-42-6323
参考になる資料		